

第二復員省公報 第五四號

○令 達

内令第四〇號

昭和二十年内令第七號中左ノ通改正ス

昭和二十一年三月十五日

第二復員大臣

表申 横須賀地方復員局掃海部横須賀支部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)八隻」ヲ「雜役船(曳船)六隻」ニ改ム
大阪地方復員局掃海部大阪支部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)三隻」ヲ「雜役船(曳船)二隻」ニ改ム

(昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第一〇號參照)

官房總第二六號

第二復員部内勤務員ノ徽章着用ニ關シ左ノ通定ム

昭和二十一年三月九日

第二復員大臣

第二復員部内勤務員ハ左ノ場合左胸部ニ別圖ニ依ル徽章ヲ佩用スルモノトス

一 其ノ本務ヲ行フトキ

二 第三復員部内構門ヲ出入スルトキ

第二復員省公報 第五四號 昭和二十一年三月十九日

昭和二十一年三月十九日(火)
第二復員大臣官房

附則

本令ハ昭和二十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ従前ノ規定ニ依ル徽章(徽章代用ノモノヲ含ム)ハ昭和二十一年五月三十一日迄之ヲ用フルコトヲ得

昭和十四年十二月一日達第二五二號、昭和二十年十二月二十五日達第一六號ハ之ヲ廢止ス

(別圖ハ後送ス)

(參照) 昭和十四年十二月一日達第二五二號ハ海軍文官同待遇者雇員備入本務ヲ行フ際及海軍武官平服着用ノ場合徽章附著ノ件ナリ(諸例則卷四、一三六頁)

官房經第三三號

臨時軍事費特別會計支辨ノ經費ハ昭和二十一年二月ヲ以テ打切リ三月以降ハ一般會計支辨トナルベキヲ以テ之ニ伴ヒ昭和二十年年度歳入歳出科目表ヲ別冊ノ通改定ス

別冊ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

昭和二十一年三月十一日

第二復員大臣

官房經第三五號

當分ノ間第二復員部内職員公務ニ依リ内地ヲ旅行スルトキ支給

九

2112

スベキ移轉料ハ海軍内國旅費規則第六表ノ規定ニ拘ラズ別表ニ依ル

本令ハ昭和二十一年一月一日以後ノ旅行ニ付之ヲ適用ス

昭和二十一年三月十三日

第二復員大臣

(別表添)

○難 款

○事務開始

函館上陸地連絡所設立準備事務所ヲ二月十五日左記ニ設置シ事務ヲ開始セリ

記

函館市舟場町

船舶運營會函館出張所内

電話函館局 (一三三三番(晝間) 五四六八番(夜間))

(函館上陸地連絡所設立準備事務所)

佐世保地方復員局管業部長崎連絡所ヲ三月五日長崎市三菱長崎造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(保世佐地方復員局管業部)

○轉官

海軍技手糸山眞一ハ二月十日氣象技手ニ、第二復員屬川上碩三八二月二十八日厚生屬ニ孰モ轉官セリ

別表

(昭和二十一年三月十九日第二復員省公報)

考 備	移 轉 料								
	一 等	二 等	三、四、五等	六、七、等	八 等	九 等	鐵道	一〇〇 秆未滿	五〇〇 秆未滿
一 家族移轉料ノ支給ヲ受クル者ニハ其ノ際海軍内國旅費規則第四十五條ノ規定ニ該當シタル當時ノ旅費等級ニ依リ本表移轉料ノ額ヲ更ニ支給ス	五〇〇 ^四 〇〇〇	三五〇 ^四 〇〇〇	二五〇 ^四 〇〇〇	一七〇 ^四 〇〇〇	一二〇 ^四 〇〇〇	八〇〇 ^四 〇〇〇	一〇〇 秆未滿	五〇〇 秆未滿	一〇〇 秆未滿
二 鑛道以外ノ旅行ニ在リテハ水路二百秆、陸路五十秆ヲ鐵道四百秆ノ割合ニ依リ計算ス	七〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	二四〇〇〇〇	一七〇〇〇〇	一二〇〇〇〇	一〇〇 秆未滿	五〇〇 秆未滿	一〇〇 秆未滿
三 移轉料ヲ區分スル秆數ハ出發地ヨリ目的地迄ノ順路ニ依ル秆數トス	八〇〇〇〇〇	五六〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	二八〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇	一四〇〇〇〇	一、五〇〇 秆未滿	五〇〇 秆未滿	一、五〇〇 秆未滿
	一、〇〇〇〇〇〇	七〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	三五〇〇〇〇	二五〇〇〇〇	一八〇〇〇〇	二、〇〇〇 秆以上	一、〇〇〇 秆未滿	二、〇〇〇 秆以上

(別圖)

判任官以上
(判任官以上)
(判任官以上)

銅臺 銀メッキ梨地
櫻花 赤
蕊 銀
徑 一三・五
耗 線 色



人員

銅臺 銀メッキ梨地
櫻花 綠
蕊 銀
徑 一三・五
耗 線 色



(昭和二十一年三月十九日第二復員省公報)

2115

第二復員省公報 第五五號

昭和二十一年三月二十日(水)
第二復員大臣官房

○通 牒

二復經理局主第二號ノ一三
昭和二十一年三月十五日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

政府特殊借入金借入事務取扱方ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ大藏次官ヨリ第二復員次官宛別紙理祕第九九號ノ通牒有之候條了知相成度

(別紙)

理祕第九九號

昭和二十一年三月四日

大 藏 次 官

第二復員次官殿

政府特殊借入金借入事務取扱方ニ關スル件

客年十一月二十四日附聯合軍最高司令部ノ日本政府ニ對スル覺書「戰爭利得ノ除去及財政ノ再建ニ關スル件」第四項及第八項ニ基キ政府特殊借入金證書ノ發行ハ爾來停止シテアリタル處前記覺書及本年一月二十一日附覺書「政府借入及政府支出ノ削減ニ關スル件」ニ基キ戰爭關係金債權ノ封鎖ニ關スル法制的措置

第二復員省公報 第五五號 昭和二十一年三月二十日

ニ拘ラズ政府特殊借入金ニ依ル政府金債權ノ決済制度ノ繼續方ニ付同司令部ノ諒解アリタルヲ以テ未處理債務ノ急速處理ヲ圖ル爲政府金債權特殊決済事務取扱規則ノ規定ニ從ヒ別紙ニ依リ暫定的ニ處理スルコト相成候條可然御取計相成度

追而臨時資金調整法施行令第九條ノ六ニ依ル太藏大臣ノ指定スル物件ノ買収代金又ハ一回ノ支拂金額一萬圓ヲ超ユル加工費、工事費若ハ保管料並ニ企業整備資金措置法第十一條ノ規定ニ依ル一口五千圓以上ノモノニシテ爾今政府特殊借入金トナルモノニ付テハ未處理債務ノ急速處理ヲ圖ル爲右支拂ニ相當スルモノハ成ル可ク速ニ御請求相成ル様併而及御依頼候也

政府特殊借入金暫定取扱要領ニ關スル件

一 政府金債權特殊決済事務取扱規則第三條ニ依リ大藏大臣債主ニ對シ政府特殊借入金證書交付通知書ヲ送付スルトキハ之ニ添ヘ政府特殊借入金證書ハ日本銀行ヲシテ保管セシメラレ度旨ノ通知ヲ爲スコト
二 同規則第四條ニ依リ日本銀行債主ヨリ政府特殊借入金證書交付通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ右通知書ニ政府特殊借入金證書保管ノ旨ノ裏書ヲ爲シ債主ニ返付シ其ノ旨大藏大臣及關係各省大臣ニ通知スルコト

九三

三 日本銀行前項ニ依リ處理シタルトキハ共ノ一件毎ノ明細ヲ帳簿ニ記入整理シ置クコト

二復經理局主第二號ノ一四 昭和二十一年三月十五日

第二復員省經理局長

支 出
各資金前渡官吏
各契約擔任官 殿

金錢債務ノ支拂ニ關スル通牒中改正ノ件通知

二復經理局主第二號ノ一一金錢債務ノ支拂ニ關スル通牒中左ノ
通改正致候

「現金支拂」ヲ「支拂」ニ改ム

(参照) 三月六日第二復員省公報第四九號

○ 雜 款

第二復員技師兼海運局技師 岡本節夫
免本官專任海運局技師(二月二十六日內閣)

第二復員省公報 第五六號

昭和二十一年三月二十二日(金)
第二復員大臣官房

○令 達

内令第四一號
昭和十二年内令第二三二號海軍通信隊ノ所屬、名稱、所在地及
種別ノ件ハ之ヲ廢止セラル
昭和二十一年三月十五日

第二復員大臣

(内令提要卷一、三〇ノ四八頁參照)

○通 牒

二復總務局第二五一號
昭和二十一年三月十三日

第二復員省總務局長

關係各廳長殿

第二復員省囑託船員ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 總務局

宛 部内一般

第二一七五九番電

第二復員省囑託船員ノ件

第二復員省公報 第五六號 昭和二十一年三月二十二日

現ニ船舶運送會船員ニシテ左記特別輸送船及泊地給油船(ステーションタンカー)ニ乗組ミ特別輸送關係業務ニ從事中ノ者ハ該船舶ノ配船計劃及運航統制ヲ第二復員省ニ於テ實施スル期間別ニ辭令ヲ用ヒズシテ第二復員省無報酬無待遇囑託ノ取扱トシ左ノ如ク遇スルコトニ定メラル

一 船 名

氷川丸 菊丸 紀進丸 高砂丸 協力丸 忠榮丸

及第十方面艦隊司令長官ノ運航統制下ニアル引揚輸送船

二 殊 遇

乗組中必要ナル糧食ハ乗組員ニ準ジ支給ス

乗組中必要ナル被服ハ乗組員ニ準ジ貸與スルコトヲ得

乗組中必要ナル酒保物品ハ乗組員ニ準ジ供給ス

一般乗組員同様船内ニ於ケル諸規律ニ服スルモノトス

(ホ)ニ必要ナル事項ハ所屬長官又ハ當該船運航ヲ統制ス

ル地方復員局長官所定ニヨリ遇スルコトヲ得

三 呼 稱

本該當船員ヲ「第二復員省囑託船員」ト呼稱ス

發 總務局

宛 部内一般

第二一五一二番電

九五

<p>囑託船員指定船中一部削除ノ件 第二一七五九番電ニ依ル囑託船員指定船中ヨリ左ヲ削除セラ ル 協力丸 忠榮丸</p>	<p>○雜 談</p>	<p>○郵便物發送先 本艦宛郵便物ハ左記宛送付相成度</p>	<p>記</p>	<p>鹿児島市 鹿児島上陸地連絡所氣付 特別輸送艦 樺</p>	<p>廣島縣吳市 吳地方復員局留置 特別輸送艦 早 埼 (特別輸送艦早埼)</p>	<p>佐世保郵便局氣付 特別輸送艦 奄 美 (特別輸送艦奄美)</p>	<p>○郵便物廻送ノ件 本艦宛郵便物ハ左記へ廻送相成度 記</p>
<p>京都府東舞鶴市 東舞鶴郵便局氣付 特別輸送艦 樺 (特別輸送艦樺)</p>	<p>○移轉 當所ハ三月五日左記ニ移轉セリ</p>	<p>記 戸畑市東本町戸畑國民學校内(電話戸畑五四五番) (運航班 若松市東海岸通二丁目(電話若松一四九二番) (電信課 現在ノ儘)</p>	<p>○轉官 第二復員技術師關谷不二彦ハ二月二十八日地方技師ニ轉官セリ</p>	<p>(門司上陸地連絡所)</p>			

2119

第二復員省公報 第五七號

昭和二十一年三月二十三日(土)

第二復員大臣官房

○通 牒

二復總務局第二七一號

昭和二十一年三月二十日

第二復員省總務局長

第二復員大臣官房需品部長

關係各廳長殿

經營需品消費規制ニ關スル件申進

特別輸送艦船及掃海艦艇ニ供給スベキ經營需品ノ準備ニ關シテハ關係各部ノ絶大ナル努力ニモ拘ラズ舊軍需部在庫品ノ引渡ハ種々障礙アル爲目下ノ處取得量ハ所要量ニ遠ク及バズ又今後ノ引渡量ニモ大ナル期待ヲ懸ケ得ズ且不足品ノ調達ハ現國內情勢ヲ以テシテハ資材、生産等各方面ニ亘リ惡條件累積シ早急ニハ之ヲ打開困難ナル現狀ニシテ今後經營需品ノ補給ハ益々困難ヲ極ムルコトト豫想セララルニ付此ノ際左ノ點ニ特ニ留意シ之ヲ消費規制ニ關シ深甚ノ努力ヲ拂ハレ度

消費規制ヲ嚴ニシ極力節約ヲ圖ルト共ニ固有用途以外ノ使用ヲ避クルコト

二 經營需品中ニハ一般生活必需品多數アルヲ以テ横流等ナキ様監督ヲ嚴ニスルコト

三 供給標準ニ記載セラレアルモノト雖モ無クテ濟セ得ルモノ

第二復員省公報 第五七號 昭和二十一年三月二十三日

ハ極力受込マザルコト
四 保管取扱ニ留意シ亡失毀損ヲ防止スルコト

二復經理局主第二號ノ一五

昭和二十一年三月二十日

第二復員省經理局長

支 出
各資金前渡官吏
各契約擔任官吏 殿

政府特殊借入金ニ依ル決濟ニ關スル件通牒

今般大藏省告示第四十六號及同第四十七號ヲ以テ政府特殊借入金ト爲シ得ベキ買收代金、工事費等ノ限度金額ヲ引下ガラレ候處之ニ關聯シ自今部内ニ於ケル首題ノ決濟ニ關シテハ昭和十八年經物第一四二號通牒ニ拘ラズ左記ニ依リ處理ノコトニ取計相成度

記

- 一 終戦前ノ契約ニ係ル軍需品代金等ニシテ支拂停止中ノ金額一萬圓ヲ超ユルモノニ付テハ特ニ定ムルモノノ外政府特殊借入金トシテ決濟手續ヲ取進ムルコト
- 二 臨時軍事實費支辨ニ屬スル本年二月末日以前ノ金額一萬圓ヲ超ユル債務ニシテ前號ニ該當セザルモノノ辨濟ニ付テモ必要

九七

已ムヲ得ザルモノノ外政府特殊借入金トシテ決済スルコト但
シ本決済關係ノ書類ニハ其ノ表面餘白ニ「非軍需」ト表示ノ
上調製者捺印スルモノトス

(参照)

大藏省告示第四十六號

昭和十八年七月大藏省告示第二百九十八號(企業整備資金措置
法第十一條ノ規定ニ依リ政府特殊借入金、特殊預金、特殊金銭
信託、債務者特殊借入金及戰時金融庫特殊借入金ノ條件ヲ定
ムルノ件)中左ノ通改正ス

昭和二十一年二月二十八日

大藏大臣 子爵 澁澤 敬三

第一號政府特殊借入金ノ一回ノ借入金額「一口一萬圓以上」ヲ
「一口五千圓以上」ニ改ム

(参照)

大藏省告示第四十七號

臨時資金調整法施行令第九條ノ六ノ規定ニ依リ左ノ通指定ス

昭和二十一年二月二十八日

大藏大臣 子爵 澁澤 敬三

價格一萬圓ヲ超エル物件ノ買収代金又ハ一回ノ支拂金額一萬圓
ヲ超エル加工費、工事費若ハ保管料
昭和二十年十月三日大藏省告示第三百六十五號ハ之ヲ廢止ス

第二復員省公報 第五九號

昭和二十一年三月二十七日(水)
第二復員大臣官房

○通牒

二復員省主第二號ノ二〇

昭和二十一年三月二十五日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

金融緊急措置ニ伴フ支拂事務等ノ取扱ニ關スル件通牒



首題ノ件ニ關シ大藏次官ヨリ第二復員次官宛別紙ノ通牒有之候條可然取計相成度

追テ右ニ關聯シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

主課長

發 第二復員省經理局長

宛 關係各廳長

第十六一三四〇番電

金融緊急措置ニ伴フ支拂事務等ノ取扱ニ關スル件

金融緊急措置ニ伴フ支拂事務等ノ取扱ニ關シ左ノ通定メラル

一 經理局第二六一五二八番電第六號中「翻譯料」ヲ削除ス

二 現金支拂(封鎖支拂ニ非ザル支拂)ヲ爲スベキ場合ニ於テ

小切手等ヲ用フルトキハ小切手等ノ表面餘白ニ「自由支拂」

ト明記スルコト

第二復員省公報 第五九號 昭和二十一年三月二十七日

三 本年二月以前ニ支拂フベキモノニシテ手續遅延等ノ爲今後支拂フモノハ之ヲ封鎖支拂トスルコト

四 一件五百圓未満ノ機密費支拂ハ現金支拂ト爲スコトヲ得但シ機密費ノ個人名義預貯金ニ付テハ右ノ現金支拂ヲ可能ナラシムル爲當該預貯金通帳ノ表面ニ官職氏名ノ外(秘)ト記載シ當該官廳ノ官印ヲ捺捺スルコト(本標示アル通帳ノ預貯金拂戻ノ特別取扱ニ付テハ大藏省ヨリ別途金融機關宛通牒済)

(昭和二十一年三月六日第二復員省公報第四九號參照)

(別紙第一)

官房秘乙第一八四號

昭和二十一年三月二日

第二復員次官殿

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則ニ關スル件

金融緊急措置ニ伴フ國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ支拂等ノ取扱ニ關シテハ既ニ通牒致シ既ニ實施中ノ處今般右取扱ヲ法制化シ別紙「國又ハ都道府縣其ノ他公共團體支拂等規則」ヲ三月三日公布即日施行スルコトト相成候條右御諒知相成度尙遠反行爲ハ法令違反ナルコトニモ鑑ミ關係各方面ヘノ周知徹底

大 藏 次 官

方特ニ御配慮相成度

追テ右規則第一條第一項第五號ノ大藏大臣ノ指定スル已ムコトヲ得ザル使途ニ充テラルル經費トシテ「一件五百圓未滿ノ機密費」ヲ指定セルニ付併前及通牒候

大藏省令第二十四號

金融緊急措置令及日本銀行券預入令ニ基キ國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則左ノ通定ム

昭和二十二年三月三日

大藏大臣 子爵 渡澤 敬三

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則

第一條 國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ金錢債務ノ現金

ニ依ル支拂又ハ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂ハ左ノ各號ノ經費ニ付爲スモノニ限ル

一 俸給、給料、手當、賞與其ノ他ノ定期的給與當該月ニ於

テ五百圓(分類所得稅額、恩給法國庫納金額、健康保險保

險料額、船員保險保險料額、厚生年金保險保險料額及共濟

組合掛金額ヲ含マズ)ヲ超ユル定期的給與ヲ受クル者ニ付

テハ五百圓迄ニ限ル

二 旅費、被服料、通信費、車馬費、賄料及謝礼金

三 一件ノ金額五百圓未滿ノ消耗品費、備品費、圖書費、文

具費其ノ他ノ事務用雜費
四 國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ニ對シ支拂ハルル經費

五 大藏大臣ノ指定スル已ムコトヲ得ザル使途ニ充テラルル經費

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ出納官吏又ハ之ニ準ズル者ニ對スル資金交付ノ爲ノ支拂ハ現金ニ依ル支拂又ハ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂トス

第二條 國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ金錢債務ノ支拂ハ前條ニ掲グル經費ヲ除クノ外封鎖支拂ノ方法ニ依リ之ヲ爲スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

金融緊急措置令施行規則中左ノ通改正ス

第五條第一項第三號、第三項及第十三條ノ二第一項第一號中「(分類所得稅額ヲ含マズ)」ヲ「(分類所得稅額、健康保險保險料額、船員保險保險料額及厚生年金保險保險料額ヲ含マズ)」ニ改ム

第七條中「又ハ封鎖支拂」ヲ「又ハ小切手若ハ郵便爲替證書ヲ以テスル封鎖支拂」ニ改ム

日本銀行券預入令施行規則中左ノ通改正ス

第七條第一號ヲ削リ第二號以下順次繰上グ

第十一條第三項中「金融機關」ヲ「國若ハ都道府縣其ノ他地方公共團體又ハ金融機關」ニ改ム

(別紙第二)

官房秘乙第一八六號

昭和二十一年三月六日

三三二一六番山

大藏次官

第二復員次官殿

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則ニ關シテハ三月

則ノ取扱ニ關スル件

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則ニ關シテハ三月二日附ヲ以テ通牒致置候處同規則ニ依ル支拂事務等ノ取扱ノ細目ニ付テハ左記ニ依リ取扱相成度

追テ本取扱ノ決定ニ伴ヒ二月二十一日附通牒「金融緊急措置ニ伴フ各省支拂事務等取扱方ニ關スル件」ハ之ヲ廢止セルニ付御諒相成度

記

一 規則第一條ノ規定ニ依リ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂ヲ爲ス場合ニハ小切手等ノ表面餘白ニ「自由支拂」ト明記スルコト

二 規則第一條第一項ノ規定ニ依リ現金ニ依ル支拂又ハ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂ヲ認メラレタル經費ニハ昭和二十一年二月以前ノ分(例之二月以前ニ支拂フベカリシモノニシテ手續遅延セル爲今後支拂フモノ)或ハ二月分以前ノ定期的給與、旅費等)ハ含マザルモノトスルコト從ツテ之等二月以前ノ分ハ規則第二條ノ規定ニ依リ封鎖支拂トスルコト

三 規則第一條第一項第一號ノ「其ノ他ノ定期的給與」ニハ一

時的給與ノ性質ヲ有セザル恩給、社會保險給付金、臨時備ノ入夫賃(一日二十四ノ限度トスルコト)等ヲ含ムモノトスルコト

尙他ヨリ主タル給與ヲ受クル者(例之他省ノ官吏、民間人等)ニ對スル手當等ハ本號ニ依ラズ第二條ノ規定ニ依リ封鎖支拂トスルコト

四 規則第一條第一項第二號ニ關シ前取扱方ニ掲記セル翻譯料及寫字料ハ民間支拂トノ均衡上削除セルニ付特ニ注意スルコト

五 規則第一條第一項第五號ノ規定ニ依ル大藏大臣ノ指定スル經費トシテ差當リ左ノモノニ付指定セラレタルコト
一件五百圓未満ノ機密費
(二)(一) 一件五百圓未満ノ引揚民ノ應急救助費並ニ扶助ニ關スル法令等ニ基ク生活扶助(養育扶助ヲ含ム)及生業扶助
(三) 船舶ノ航海中ノ諸經費ニシテ船籍港以外ノ港ニ於テ支拂ヲ爲スモノ

(四) 離島關係ノ諸經費(例之燈臺關係經費等)
機密費ノ個人名義預貯金ニ付テハ右(一)ニ依ル現金支拂ヲ可能ナラシムル爲當該預貯金通帳ノ表面ニ官職氏名ノ外(機)ト記載シ當該官廳ノ官印ヲ押捺スルコト(本標示アル通帳ノ預貯金拂戻ノ特別取扱ニ付テハ別途金融機關宛通牒濟)但シ東京ニ於ケル金融機關ニ對スル預貯金ニ付テハ右官印押捺前ニ大藏省主計局司計課ニ申出ヅルコト

第二復員省公報 第五九號 昭和二十一年三月二十七日

一〇三

尙前記(一)乃至(四)ノ外大藏大臣ノ指定ヲ受ケントスル場合ハ
現金ニ依ル支拂又ハ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂ノ已
ムヲ得ザル理由ヲ具シ大藏省理財局國庫課(但シ機密費ニ
付テハ主計局計課)ニ申出ツルコト

六 規則第二條ノ規定ニ依リ封鎖支拂ヲ爲ス場合ニハ小切手等
ノ表面餘白ニ「封鎖支拂」ト明記スルコト

七 規則第一條第一項第一號以外ノ封鎖支拂ヲ爲スベキ給與ノ
支拂ニ付テハ支拂者及金融機關等ノ事務ノ便宜上左ノ如ク取
扱フコトトシ右以外ノ取扱ヲ爲サントスルトキハ大藏省理財
局國庫課ニ連絡スルコト

(一) 受給者ノ預入ヲ希望スル金融機關別ニ預入金額及預金名
義人ノ明細表ヲ附シ預入金額總額ノ小切手ヲ作成シ當該金
融機關ノ適宜ノ一店舗ニ送付スルコト

(二) 右小切手ヲ受領セル金融機關ノ店舗ハ小切手ノ金額ヲ明
細表ニ從ヒ各人ノ當該金融機關各店舗ニ於ケル預金ニ振込
ムコト

(三) 受給者ノ郵便官署ニ預入ヲ希望スルモノハ之ヲ一括シ預
入金額及預金名義人ノ明細表ヲ附シ預入金額總額ノ小切手ヲ
預金名義人ノ貯金通帳ト共ニ適宜ノ郵便官署ヘ持參シ郵便
官署ハ之ヲ明細表ニ從ヒ各員ノ郵便貯金ニ振込ムコト

八 規則ノ附則ノ規定ニ依リ日本銀行券預入令施行規則第七條
改正セラレ國又ハ地方公共團體ノ所持スル舊券ハ凡テ預入ス
ルコトヲ要シ新券ヲ必要トスル場合ニハ規則第一條ノ規定ニ

依リ現金ニ依ル支拂ヲ認メラレタル經費及當該經費ノ現金支
拂上必要ナル資金ニ限り新券交付セララルルニ付注意スルコト
從ツテ供託金、領置金、保管金等ニシテ特ニ舊券ヲ新券ニ引
換スル必要スルモノニ付テハ一旦舊券ヲ預入セル上規則第一
條第一項第五號ニ依リ大藏大臣ノ指定ヲ受ケ新券ノ交付ヲ受
クルコト

○ 雜 款

○ 郵便物廻送ノ件

當分ノ間本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ廻送相成度

記

廣島縣吳市 吳地方復員局艦船運航部氣付

特別輸送艦 輸第百十號

(特別輸送艦輸第百十號)

○ 移 轉

舞鶴上陸地連絡所ハ三月十一日舞鶴市舊平海兵團内ニ移轉セリ

道ヲ厚生省舞鶴引揚援護局(檢疫所共)及舞鶴上陸地支局モ

同一構内ニ在リ

(舞鶴地方復員局舞鶴上陸地連絡所)

第二復員省公報 第六〇號

昭和二十一年三月二十八日(木)
第二復員大臣官房

○ 令 達

内令第四二號

昭和二十年内令第七號中左ノ通改正ス

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣

表中 吳地方復員局掃海部吳支部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第百二號」ヲ削ル

佐世保地方復員局掃海部佐世保支部ノ項掃海艦名ノ欄「掃特第十五號」ヲ削リ「同 第十六號」ヲ「掃特第十六號」ニ改ム

(昭和二十一年十二月十八日第二復員省公報第一〇號參照)

内令第四三號

吳地方復員局所管

掃海艦 哨特第百二號

佐世保地方復員局所管

同 掃特第十五號

右掃海艦ヲ解ク

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣

内令第四四號

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 掃特第十九號

同 掃特第二十號

右舞鶴地方復員局所管ト改ム

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣

内令第四五號

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 海第百十六號

右特別輸送艦ヲ解ク

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣

官房經第四二號

第二復員部内所得稅徵收手續特例ハ昭和二十一年二月二十八日限り之ヲ廢止ス但シ昭和二十一年三月八日以前ニ退職シタル者ノ分類所得稅ノ徵收ニ付テハ仍從前ノ例ニ依リ徵收スルコトヲ得

第二復員省公報 第六〇號 昭和二十一年三月二十八日

一〇五

昭和二十一年三月二十七日

第二復員大臣

○雜 款

○郵便物廻送先

當分ノ間本艦宛郵便物ハ左記ヘ廻送相成度

記

神戸市兵庫區和田崎町三丁目

三菱重工業株式會社庶務課氣付

特別輸送艦 輸第二十號

追テ本艦ハ四月十日迄本造船所ニテ修理ノ豫定ニ存之

(特別輸送艦輸第二十號)

○事務開始

當連絡所ヲ三月一日左記ニ設置シ事務ヲ開始セリ

記

函館市舟場町 (船舶運營會函館出張所内)

電話 函館 (一三三三) (晝間)

(五四六八) (夜間)

(函館上陸地連絡所)

○事務閉鎖

吳地方復員局需品部岡山出張所ハ三月十五日附閉鎖セリ

(吳地方復員局需品部)

第二復員省公報 第六一號

昭和二十一年三月二十九日(金)
第二復員大臣官房

通牒

二復員局契九第一號ノ六六

昭和二十一年三月七日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

日用品等受込通帳ニ關スル件通牒

諸物品不足ノ現狀ニ鑑ミ日用品等補給ノ適正ヲ期スル爲之ガ受込補給ヲ爲サントスルトキハ爾今左記ニ依ルコトト致候條可然取計相成度

記

一 各地方復員局經理部ハ管下特別輸送艦艇、掃海艇、引揚接護局、病院等ニ對シ日用品等受込通帳(様式別紙)(以下通帳ト稱ス)ヲ交付シ發行番號所轄名ヲ關係經理部ニ通報スルモノトス

二 日用品等ノ補給ヲ受ケントスル各部ハ其ノ受込要求ト共ニ通帳ヲ經理部ニ呈示スルモノトス

三 經理部ハ前回迄ノ補給受込狀況ヲ照應ノ上補給數量ヲ決定シ通帳ニ記入捺印ノ上受込要求ト共ニ淺野物產出張(派出)所ニ回付補給セシム

四 淺野物產出張(派出)所以外ノ各部ニ於テ補給ヲ爲ス場合

亦右ニ準ズ

(別紙添)

二復員局主第五號ノ四

昭和二十一年三月二十二日

第二復員省經理局長

各地方復員局經理部長殿

臨時軍事費特別會計終結ニ關スル勅令等ノ件
送付

今般制定セラレタル首題ノ件左記ノ通及送付候

追テ管下殘務整理事務所等所要ノ向ヘハ貴部ヨリ送達相成度

記

一 昭和二十一年勅令第百十號臨時軍事費特別會計終結ニ關スル件

一 昭和二十一年大藏省令第三十七號昭和二十一年勅令第百十號(臨時軍事費特別會計ノ終結ニ關スル件)施行ニ關スル件

昭和二十一年勅令第百十號(昭和二十一年二月二十八日公布)

臨時軍事費特別會計ノ終結ニ關スル件

第一條 臨時軍事費特別會計ノ年度ハ臨時軍事費特別會計法第一條ノ規定ニ拘ラズ昭和二十一年二月二十八日ヲ以テ終結ス

第二復員省公報 第六一號 昭和二十一年三月二十九日

一〇七

第二條 臨時軍事費特別會計ノ歳入歳出ノ出納ニ關スル事務ハ

昭和二十一年六月三十日迄ニ悉皆之ヲ完結スベシ

第三條 臨時軍事費特別會計ノ收入歳入額ハ昭和二十一年五

月三十一日迄ニ歳入事務管理廳ニ判明シタル收入額ノ金額ト

シ同特別會計ノ支出歳出額ハ同日迄ニ所管大臣ニ判明シタ

ル支出額ノ金額ヨリ資金ノ前渡ヲ受ケタル官吏ニ於ケル支拂

ノ同日迄ニ判明セザル金額ヲ控除シタル金額トス

臨時軍事費特別會計所屬ノ歳入金又ハ歳出金ニシテ前項ニ規

定スル日後ニ於テ其ノ收納又ハ支出若ハ支拂ノ判明シタル金

額ハ之ヲ其ノ判明シタル年度ノ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組

入レ整理スベシ

第四條 臨時軍事費特別會計ニ於ケル歳計ノ剩餘又ハ不足ハ之

ヲ一般會計ノ所屬ニ移シ整理スベシ

第五條 臨時軍事費特別會計ノ年度終結ノ際之ニ屬スル權利義

務ハ之ヲ一般會計ニ歸屬セシム

第六條 政府ハ臨時軍事費特別會計ノ歳入歳出決算ヲ調製シ昭

和二十一年度開會ノ帝國議會ノ常會ニ於テ之ヲ帝國議會ニ提

出スベシ

政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ歳入歳出ノ決算額ト第三

條第二項ノ規定ニ依リ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組入レ整理

シタル金額トノ合算額ノ計算書ヲ調製シ之ヲ歳入歳出ノ總決

算ト共ニ帝國議會ニ提出スベシ

第七條 本令施行ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大藏省令第三十七號

昭和二十一年勅令第十號(臨時軍事費特別會計ノ終結ニ關ス

ル件)施行ニ關スル件左ノ通定ム

昭和二十一年三月十八日

大藏大臣 子爵 齋藤 敏三

第一條 臨時軍事費特別會計ノ歳入金ヲ日本銀行ニ於テ受入ル

ルハ昭和二十一年四月三十日限トス但シ左ニ掲グル場合ニ於

テハ同年五月三十一日迄之ヲ受入ヲ爲スコトヲ得

一 出納官吏ヨリ其ノ領收シタル歳入金ノ拂込アリタルトキ

二 國庫内ニ於テ移換ニ依ル歳入金ノ受入ヲ爲ストキ

臨時軍事費特別會計ノ歳出金ヲ日本銀行ニ於テ支拂フハ昭和

二十一年五月三十一日限トス

第二條 臨時軍事費特別會計ノ歳入金ヲ出納官吏又ハ出納員ニ

於テ收納スルハ昭和二十一年四月三十日限トス

第三條 臨時軍事費特別會計ニ於テ定額戻入ヲ爲スハ昭和二十

一年四月三十日限トス

第四條 臨時軍事費特別會計ノ經費ヲ精算シテ小切手ヲ振出し

又ハ現金支拂ヲ爲スハ昭和二十一年四月三十日限トス但シ國

庫内ニ於ケル移換ノ爲ニスル支出ニ付テハ同年五月三十一日

迄小切手ヲ振出スコトヲ得

第五條 臨時軍事費特別會計ノ小切手振出済金額中昭和二十一年五月三十一日迄ニ支拂ヲ了セザル金額ニ相當スル資金ハ昭和二十一年勅令第百十號第四條ノ歲計剩餘又ハ歲計不足ニ組入レズ之ヲ繰越整理スベシ

第六條 昭和二十一年勅令第百十號第三條第一項ノ規定ニ依リ控除シタル金額ハ之ヲ支出官ニ於テ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ各支出シタル經費ノ定額ヲ復活シ整理スベシ

第七條 臨時軍事費特別會計ニ於テ負擔セタル債務ヲ政府特殊借入金ノ方法ニ依リ決済ヲ爲スハ昭和二十一年五月三十一日限トス

第八條 臨時軍事費特別會計ノ最終ノ徵收總報告書及支出總報告書ヲ大藏大臣ニ送付スルハ昭和二十一年六月十日限トス

第九條 歳入事務管理廳ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ臨時軍事費特別會計ノ收入済歳入額ニ付豫算ニ對スル増減計算書ヲ調製シ昭和二十一年六月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

第十條 大藏大臣ハ會計検査官立會ノ上昭和二十一年六月三十日臨時軍事費特別會計ノ主計簿ヲ締切ルベシ

第十一條 昭和二十一年勅令第百十號第六條第二項ノ規定ニ依リ計算書ハ同令第三條第二項ノ規定ニ依リ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組入レ整理シタル年度ニ於テ臨時軍事費特別會計ノ

歳入歳出ノ決算額ニ當該年度迄ニ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組入レ整理シタル金額ヲ合算シ調製スルモノトス
前項ノ計算書ノ帝國議會ヘノ提出ハ昭和二十一年勅令第百十號第三條第二項ノ規定ニ依リ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組入レ整理シタル年度ノ翌年度開會ノ帝國議會ノ常會ニ於テ之ヲ爲スモノトス

附則
本令ハ昭和二十一年三月一日ヨリ之ヲ適用ス

○雜 款

○郵便物發送先
自今本館宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

佐世保郵便局氣付

特別輸送艦 海第百二號

(特別輸送艦海第百二號)

舞鶴市 東舞鶴郵便局氣付

特別輸送艦 樞

(特別輸送艦樞)

鹿兒島上陸地連絡所氣付

特別輸送艦 箕

(特別輸送艦箕面)

廣島縣 吳郵便局留置
特別輸送艦 長 鯨
(特別輸送艦長鯨)

廣島縣 吳郵便局留置
特別輸送艦 雪 風
(特別輸送艦雪風)

○郵便物廻送ノ件
本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ廻送相成度

鹿兒島郵便局氣付
特別輸送艦 堇
(特別輸送艦堇)

佐世保局氣付
特別輸送艦 海五十七號
(特別輸送艦海五十七號)

○事務開始
本艦機裝員事務所ヲ三月一日大阪府泉南郡深日町絲ヶ丘川崎造船所成徳寮内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(特別輸送艦海第四百四十二號機裝員事務所)

○正誤

三月十二日附復員省公報雜款欄事務開始ノ項「佐世保地方復員局管業部」ハ「第三十四設營隊」ノ誤

(別紙)(用紙模造罫紙)

(昭和二十一年三月二十九日第二復員省公報)

2132

何々第 號

日用品等受入通帳

(所 轄 名)

昭和 年 月 日發行

經 理 部 名 圖

「煙 草」							
年 月 日	現 在 員	主計長印	補 給 品 名	補 給 量	補 給 (擔 任) 廳	係官印	記 事
「21. 4. 1」	「250名」		「ほまれ」	「5箱」	「横須賀経理部」		「輸送定員1,000名」

- 備考 1. 煙草、酒類、菓子、食糧品、繊維製品、日用品其ノ他ノ種別ニ依リ別表トズルモノトス
 2. 「」内ハ記入例ヲ示ス
 3. 他艦船等ニ供給セルトキハ補給品名、補給量、被補給廳（補給廳欄）ヲ朱書スルモノトス
 4. 特別輸送艦艇ニアリテハ記事欄ニ輸送定員ヲ記入スルモノトス

第二復員省公報 第六二號

昭和二十一年三月三十日(土)
第二復員大臣官房

○ 通 牒

二復總務局第二九九號

昭和二十一年三月二十六日

第二復員省總務局長

各地方復員局需品部長殿

水路圖誌供給ニ關スル件通知

終戰事務ニ必要ナル水路圖誌ノ處理ニ關シテハ左記ノ通實施ノ
コトニ水路部ト協議済ニ付了知相成度

主 課 部

記

一 各地方復員局需品部ヨリ直接水路部ニ請求ス

二 水路部ハ現品ヲ各地方復員局需品部ニ直送ス

三 水路部ハ毎月第二復員省經理局長ニ水路圖誌代價ヲ一括請
求ス

二復人事局扶第二五號ノ八九

昭和二十一年三月十八日

第二復員省人事局長

關係各廳長殿

日本領域外出身者及同地域ニ遺族ヲ有スル軍
人軍屬ノ戰歿發表等ニ關スル件通知

第二復員省公報 第六二號 昭和二十一年三月三十日

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 人事局長

宛 各復員局長官

第〇七一七一二番電

日本領域外出身者及同地域ニ遺族ヲ有スル軍

人軍屬ノ戰歿發表等ニ關スル件

日本領域(二月二日「マ」司令部指令ニ依ル)外出身者タル軍
人軍屬及同地域ニ遺族ヲ有スル軍人軍屬ノ戰歿發表並ニ爾後ノ
手續ニ關シ左ノ通定メラル

一 朝鮮並ニ臺灣出身特別志願兵、徵兵及同地域内ニ派遣元屬
ヲ有スル軍屬中戰歿者ノ官職(職種待遇)氏名、入籍番號等
ハ派遣元屬別ニ取纏メ朝鮮ハ吳地方復員局人事部ニ、臺灣ハ
高雄海軍人事部ニ取敢ズ電報ヲ以テ速報シ然ル後所定手續ヲ
實施スルモノトス

二 日本領域外ニ遺族ヲ有スル前號以外ノ戰歿者ニ對スル諸手
續ハ優先的ニ之ヲ處理シ又其ノ英靈ハ各復員局人事部ニテ保
管シ遺族トノ連絡ツキ次第其ノ希望ニ應ジ引渡スモノトス

三 昭和二十年十二月人事局第〇四一八三〇番電中前諸項關聯
ノ名簿ハ特別途調製スルモノトス

四 第一號ニ該當スル者ノ給與(家族渡ヲ含ム)ハ夫々吳地方

復員局經理部又ハ高雄海軍經理部ニ於テ處理スルモノトス

○ 雜 談

○ 郵便物發送先

自今本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

神奈川縣 浦賀郵便局氣付

特別輸送艦 長

（特別輸送艦 長 鯨）

吳市 吳郵便局氣付

特別輸送艦 箕

（特別輸送艦 箕 面）

○ 事務開始

當連絡所ヲ三月二十日左記ニ設置シ事務ヲ開始セリ

記

大分市南新町外堀通（熊本地方復員人事部大分支部内）

（電話大分 五七番）

（別府上陸地連絡所）